

令和2年度
東京都公立大学法人
業務実績評価

参考意見書
(案)

東京都立大学法人の令和2年度業務実績評価に関する参考意見

I 東京都立大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置

大項目番号 1 教育内容及び教育の成果等

- ・ ベスト・ティーチング・アワードは、教員の励みとなる良い取組である。一方、学生のアンケート評価等による選出等、評価の公平性が図られているのか気になるところである。申請制度であるため、手を挙げない教員の活動も評価できるシステムであるとよいと考える。
- ・ GCP について、第8回は結果的に中止となったが、当初、都立大生の参加はリーダー2名のみであった。今後、都立大生が積極的に参画することを期待する。

I 東京都立大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置

大項目番号 7 研究実施体制等

- ・ 全学の女性教員比率は、目標である20%に到達し、それを維持しているものの、ここ数年は比率にほとんど変化がみられない。各種の取組はなされているが、女性教員確保という結果には十分結びついていないように見受けられる。今後、実効性を意識した取組の推進が望まれる。

I 東京都立大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 社会との連携や社会貢献等に関する目標を達成するための措置

(2) 社会貢献等に関する目標を達成するための措置

大項目番号 9 社会貢献等

- ・ 東京都立大学プレミアム・カレッジは、令和3年度入学の選考において、本科の志願者数が3倍を超えるなど、着実に実績をあげている。さらに、専攻科や研究生コースの設置により、学習の継続性・発展性が期待できる。今後は広報以外にもオンラインツールを有効に活用し、学びの充実と受講者の拡大を図っていくことを検討してもよいだろう。
- ・ 東京都立大学オープンユニバーシティの無料講座や東京都立大学プレミアム・カレッジの模擬授業は、効果的な情報発信でもあり、都立大のプレゼンス向上に寄与している。こうしたイベントへの受講者に対しては、何らかのプレミアムの付与を検討してはどうか。

V 財務内容の改善に関する目標を達成するために取るべき措置

1 自己収入の増加に関する目標を達成するための措置／2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置／3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

大項目番号 3 3 財務内容の改善

- ・ 卒業生を中心ターゲットとして寄附金募集制度を構築することは、愛校心の喚起・醸成の一助となり、経済的効果以上に長期的な無形の価値につながると考える。